

林業 大学校

第129回
日本森林学会
シンポジウム



～その役割と目指すもの～

林業大学校が将来の林業の担い手を育てる場として期待されています。近年、林業を専門に教える学校の設立が相次いでいます。

いまなぜ林業人材育成が必要なのか。どのような人材が求められており、社会や地域は彼らに何を期待しているのか。そこに人材育成の場である林業大学校はどのような役割を期待され何を目標せよいいのか。そして学校や卒業生に研究者や教育者がどのように関わり、学会や行政はどのように支えていけばよいか。

林業大学校に関わる様々な課題について、現在の課題と将来の展望を考える場とします。

基調講演

林業学校のめざすもの
～森林文化アカデミーの実例から

川尻 秀樹氏(岐阜県立森林文化アカデミー 副学長)

講演

林業大学校はいま

～林業の担い手はどのように育まれるか

田村 典江氏(総合地球環境学研究所プロジェクト上級研究員)



写真提供:高知県

2018年

3.26 月

13:30~17:00

[開場 12:30~]

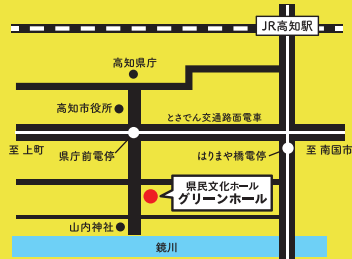
高知県立県民文化ホール
グリーンホール

参加無料
[定員 500名]

事前の申し込みは不要です。
一般の方も是非ご参加ください。

お問い合わせ 第129回 日本森林学会大会運営委員会
(国立大学法人 高知大学 農林海洋科学部 担当:松本)
E-mail jfs129@kochi-u.ac.jp

主催:一般社団法人 日本森林学会・公益社団法人 国土緑化機構「緑と水の森林ファンド」助成事業
後援:高知県、国立大学法人 高知大学



※ご来場には公共交通機関をご利用ください。至 徒歩

シンポジウム構成

13:30 **開会** 開会挨拶・趣旨説明

13:40 **基調講演** **林業学校のめざすもの**
～森林文化アカデミーの実例から
川尻 秀樹氏 (岐阜県立森林文化アカデミー 副学長)

日本大学、東京農工大学を経て岐阜県の試験研究員兼林業短期大学講師として奉職し、その後、林業専門技術員、花フェスタ記念公園管理、郡上市役所林務行政など多分野の現場を経験し、森林文化アカデミー教授に就く。森林インストラクター、樹木医、技術士(林業部門)等の資格を持つ。平成28年より現職。



14:25 **講演** **林業大学校はいま**
～林業の担い手はどのように育まれるか
田村 典江氏 (総合地球環境学研究所プロジェクト上級研究員)

京都大学大学院農学研究科博士課程卒。農学博士。総合地球環境学研究所プロジェクト上級研究員、自然産業研究所上級研究員。水産業と林業の政策、制度や経済を専門とする。林業分野では、人材育成、森林認証、林業機械化などのプロジェクトに取り組む。



14:45 **休憩**

14:55 ● **コーディネーター自己紹介**
牧田 邦宏 氏 (鹿児島大学農学部農林環境科学科 教授)



- **パネリスト自己紹介**
川尻 秀樹 氏 (岐阜県立森林文化アカデミー 副学長)
田村 典江 氏 (総合地球環境学研究所プロジェクト 上級研究員)
志方 隆司 氏 (京都府立林業大学校 教授)
岩原 暢之 氏 (高知県立林業大学校 準備室長)
野島 常稔 氏 (香美森林組合 組合長)



- **コメンテーター**
川村 竜哉 氏 (高知県林業振興・環境部 副部長)



15:35 **パネルディスカッション**

- テーマ①「どのような人材が求められているか～現場、地域社会～」
- テーマ②「林業大学校の運営～人材、地域性、行政や学会の関与～」
- テーマ③「卒業生の生活～定着への課題～」



16:50 閉会挨拶

17:00 **閉会**

お問い合わせ 第129回 日本森林学会大会運営委員会
(国立大学法人 高知大学 農林海洋科学部 担当:松本)

E-mail jfs129@kochi-u.ac.jp